

高品位ブランド **EVERSURE**

EVERSUREの **魅力1** 1080p対応



拡大を見せる  
1080p対応の  
AV機器

EVERSUREのHDMIケーブルは、他社に先駆けて1080p信号の伝送に対応。現在、1080p信号に対応したAV機器はハイエンドが中心だが、年内中に発売が予定されているブルーレイディスクは1080p出力できる特徴を持つ。今後ますます1080pに対応したHDMIケーブルの需要が高まることは間違いないのだ

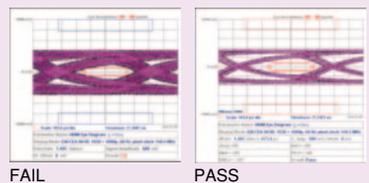
EVERSUREの **魅力3**  
リピーター等の対応製品



EVERSUREではHDMIケーブル・DVIケーブルの他に、ケーブルの延長が可能なりピーターやDVIとの変換アダプターもラインナップされている。なにより、電源不要のリピーターは日本初。長尺で安定したケーブルが必要なユーザーはもちろん、インストーラーにも重宝されそう。今年中にはスイッチャーやスプリッターなど新製品も控えているという

EVERSUREの **魅力2**  
特許技術・MagicStone

EVERSUREのプラグ部には、通称「MagicStone」なるイコライザーが内蔵されている。イコライザーはケーブルとコネクタ部分の間に入り、ケーブル内を伝送中に乱れてしまった信号を元に成形する効果を持つ。難しいとされる1080p信号を安定して伝送できるのもこの技術が一役かっているのだ。なお、出荷段階で全ての製品に対して検査が行われており、アイパターン計測結果(下图)と製造番号を記した製品保証書が同梱される



SPECIFICATION

- 線材：高純度99.996% OFC (無酸素銅)採用銀メッキケーブル
- 芯線：高密度編織、アルミテープによるトリプルシールド構造
- プラグ部：24K金メッキ処理、金属遮蔽回路プラグ、イコライザー内蔵

製品ラインナップ

<b>&lt;HDMI-HDMIケーブル&gt;</b>	
HH1020A	¥16,000(2m)
HH1030A	¥18,500(3m)
HH1050A	¥31,500(5m)
HH1100A	¥45,000(10m)
<b>&lt;HDMI-DVIケーブル&gt;</b>	
HD1020A	¥16,000(2m)
HD1030A	¥18,500(3m)
HD1050A	¥31,500(5m)
HD1100A	¥45,000(10m)
<b>&lt;HDMIリピーター&gt;</b>	
HR2A	¥30,000
<b>&lt;DVIリピーター&gt;</b>	
DR2A	¥30,000
<b>&lt;DVI-HDMI変換アダプター&gt;</b>	
HD3ADA	¥4,800
<b>&lt;HDMI-DVI変換アダプター&gt;</b>	
HD4ADA	¥4,800

HDMI-HDMIケーブル  
**HH1050A**  
¥31,500(5m)

HDMI-HDMIケーブル  
**HH1030A**  
¥18,500(3m)

1080p対応のHDMIケーブル誕生  
**EVERSURE**に  
高品位伝送を見た

取材執筆  
山之内 正

高品位デジタル端子・HDMIが生まれてから3年半。対応機器の増加と仕様の拡張でもはやAV機器には必須の要素となった感があるが、機器同士を結ぶケーブルにとっては確実で安定した、なおかつ高品質な信号伝送は容易なことではない。そんな状況のもと、HDMIの規格に早くから参画し、ワールドワイドで技術提携することで実績を積み上げてきたメーカーから新しいブランドが誕生した。その名も「EVERSURE」。特許技術のMagicStone(マジックストーン)を搭載し、1080pに対応した注目のHDMIケーブルをレポートしよう。

HDMIだから高品質の  
高いケーブル選びが重要

ディスプレイやDVDプレーヤー/レコーダーに続々と搭載機種が増えたおかげでHDMIケーブルの需要が急増しているが、品質の高いケーブルを選ぶことの重要性は、まだ広く認識されているわけではない。HDMIケーブルが伝送する信号の帯域は非常に広いため、広帯域にわたる信号損失への対策やノイズ対策が求められるにも関わらず、その基本性能や満たすべき条件についてはよく知られていないのが現状だ。

そうしたHDMIケーブルの現状に一石を投じると期待される高品位HDMIケーブルが、日本に導入された。ブランド名は「EVERSURE」。世界に認められた優秀なケーブル専門メーカーが、数年に渡り開発を積み重ねて完成させた高級ケーブルブランドだ。

高い伝送能力を実現させる  
MagicStone技術

EVERSUREの基盤技術部に、独自の工夫を凝らしている。それによって、長尺のHDMIケーブルでも信号の損失を最小限に抑えることができるのだ。

1080pの伝送品質は  
最も注目すべきポイント

HDMIケーブルに要求される伝送能力について、いま最も注目すべき点は、1080p信号に代表される高速なデジタル映像信号の伝送クオリティである。DVDプレーヤーのプログレッシブ出力(480p)や、プレーヤー側でスケーリングした720pや1080iに比べて、1080pの情報量は飛躍的に増大するため、損失が起こりやすいHDMIケーブルを使うと、映像が途切れたり、まったく画が出ない現象が起こりうる。映像信号の情報量が増え、ケーブルが長くなるほど、HDMIケーブルに課せられる課題は厳しさを増すのである。

EVERSUREのHDMIケーブルは最長で10mの製品が

は多岐にわたるが、特に映像信号の伝送については、DVIケーブルの開発・生産ノウハウの蓄積に着目する必要がある。周知の通りDVIはHDMIと映像信号について互換性があり、規格上の共通点も少なくない。信号伝送に関連するノウハウにも重なる部分が多い。EVERSUREは、PCメーカー、家電メーカーとの技術的なやり取りを通して、DVIおよびHDMIのケーブル開発の基礎を積み上げていった。

その最新の成果が、今回発売される高品位HDMIケーブルに数多く盛り込まれている。なかでも同社が特許を有するMagicStone技術には注目すべき点が多い。基本的な仕組みは信号の波形を整形するパッシブイコライザー回路と、クロストークを防ぐ部品で構成されているという。当然ながら同技術の目的は広帯域デジタル信号を忠実に伝送することであり、特に信号波形の乱れや損失が生じやすいコネクタ内部の結線

で用意されており、しかも1080pの伝送をカバーしている。さらに長いケーブルを必要とする用途も想定し、信号増幅を行うリピーターもある。同社はリピーターを併用することで30mを超える長さまで動作を確認しているとのことなので、設置条件によって10mを超える場合は、ケーブルとリピーターを併用されたい。

1080p伝送でも  
ゆとりを感じる能力

本誌試聴室でデノンのDVI-D11XVAとソニーのVPL-VW100を用意し、10mタイプのHDMIケーブルで1080pの映像を実際に確認したが、映像の安定感、情報量など申し分のないものだった。スクリーンに深い奥行きが感じられ、色再現の幅の広さ、グラデーションのなめらかさなど、多くの点にゆとりを実感した。安定した高画質再生の実現に欠かせないケーブルとして推薦する。